

湘南ペガサスとともに

ペガサス 70 代表 小杉溥孝

30代後半になった頃、小学校2年生の次男が地元のスポーツ少年団のサッカークラブに入ってサッカーを始めた。子供の試合を見ているうちに昔サッカーをしていた頃の感情が沸き起こってきて、無性にサッカーをしたくなった。請われてそのチームのコーチを引き受けたが、コーチよりも自分が選手としてサッカーをやりたい気持ちが強かった。同期の小泉親昂君からペガサスの話を聞いたのは丁度その頃であり、是非入れてもらってサッカーをしたいと思った。40歳の誕生日から参加できると言われ、誕生日になって試合に参加させてもらった。あっという間に35年目を迎え、人生の半分近くの時間をペガサスに係わって過ごしてきたことになる。参加当時は名前の如く40雀だけだったが、現在は50雀、60雀、70雀と10歳ごとのカテゴリーが4つ出来上がっている。参加当初は会員が30名弱で湘南のOBがほとんどだったが、それぞれが大学や会社と一緒にサッカーを楽しんできた仲間に声をかけ、カテゴリーが増えるに従い湘南以外の人が増え、今やその数は全メンバーの6割にも達し、会員数170名ほどのビッグクラブへと成長した。

当初の連絡は手書きの手紙で、世話役の大内さんに全部取り仕切っていただいた。そのうちPCが復旧するに従い、私も大内さんのお手伝いをして原稿作成や郵送手続きを手伝うようになった。Faxが普及するようになると連絡もFaxになり労力も減ってきた。そのうちにメールの時代が来て連絡はすべてメールとなりコストがかからなくなり、会員同士のメールのやり取りも頻繁になって意思疎通がしやすくなったと思う。

40雀の時は県外へ行くこともほとんどなく活動の大部分は県内で行われた。50雀の時にGリーグが始まり、県外に出かける機会が増えてきた。60雀の頃になると各地で交流大会が企画されそれらの大会に参加することが増えてきて、70雀では年に8~9の大会に参加している。そのほとんどが2日間の大会である。70雀は8月を除く毎週火曜日に平塚の馬入ふれあい公園サッカー場で、県サッカー協会の後援で70雀参加の5チームが集まって練習会を行っている。年齢が上がるにしたがってサッカーをする回数が増えてきたが、若い時には想像できなかったことだ。70歳を過ぎ体のあちこちに故障が増えてきたが、何とか先輩諸兄を見習って、元気に生涯現役のサッカー選手を貫きたいと思っている。